

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部収納課

総務部長 山本 卓美

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
08-001	市税等徴収事務	なし	A	現年課税分の収納率は99.82%(前年度99.80%)で、目標を0.05ポイント上回る成果を残すことができた。一方、平成30年度から成果指標を見直し、収納・停止率とした滞納繰越分は59.34%で、目標値を0.66ポイント下回る結果となったが、累積滞納額は着実に減少しており一定の成果を得られた。	改善 推進	現年課税分の更なる収納向上のために、引き続きクレジット収納拡充やスマホ決済の導入の検討など納税環境の整備を引き続き進めるとともに、初期滞納者への早期財産調査・滞納処分を一層強化していく。また、滞納繰越分については入念な各種調査を実施し、滞納処分もしくは執行停止に繋げていく。
課等長	1次評価(30年度の総括評価)					
A	<p>平成30年度決算における現年課税分の収入済額は23,494,253,398円、収納率は99.82%で目標値を0.05ポイント上回り、過去最高の収納率を更新する結果となった。滞納繰越分については、半分近くが執行停止中であることを考慮し、平成30年度から収納・停止率新たな成果指標として設定した。収納・停止率は59.34%でその目標値60.00%を0.66ポイント下回る結果で達成できなかったが、累積滞納額を175百万円程度まで減らすことが出来た。</p> <p>これは、恒久的な「収納率向上と累積滞納額削減」のために策定した「市税等収納向上基本方針」に基づき、賦課担当課職員とともに職員一丸となり、これまで効果のあった様々な施策を繰り返し実施するとともに、特別滞納整理においては、収納課職員を賦課担当課へ派遣し、滞納整理方針の助言や進捗状況の管理等を行い、より効果的な滞納整理を実施した。</p> <p>また、知多地方税滞納整理機構に派遣した職員の徴収技術は格段に向上しており、収納率向上に大きく寄与した。</p>					
部等長	2次評価(30年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
A	<p>市の財政運営の根幹をなす市税等収入を確保することは、安定した市政運営と、そこで暮らす市民にとって大変重要なことである。</p> <p>平成30年度の市税等の現年課税分の収納率は、県下38市中の2年連続の第1位であった昨年度の結果を更に上回る非常に高い成果を残すことができた。一方で差押件数は減少傾向にあり、これは本来の目的である納期限内納付、滞納処分によらない自主的な納付の意識が醸成されてきたことによるものと考えている。滞納繰越分は、収納・停止率の目標を達成することはできなかったが、累積滞納額は確実に減少してきており、一定の評価ができると判断している。</p> <p>また、生活困窮に陥っている納税者に対しては自立相談窓口となる生活援護課との連携を図るなど、それぞれの状況に応じた適切な対応に努めていく必要がある。</p>					